宮崎地方気象台

令和4年台風第5号説明会
（7月31日頃にかけての大雨について）

令和4年7月29日14時

宮崎地方気象台

今回の大雨は・・・

太平洋高気圧周辺の湿った空気の流れ込みによる大雨

＋　（～30日）

台風第5号周辺の雨雲の流れ込みによる大雨

⇓

太平洋高気圧周辺の湿った空気の流れ込みによる大雨（31日～）

※29日夜～局地的に非常に激しい雨や激しい雨の降る可能性がある。

※31日にかけて同じような場所で強雨が継続するおそれ

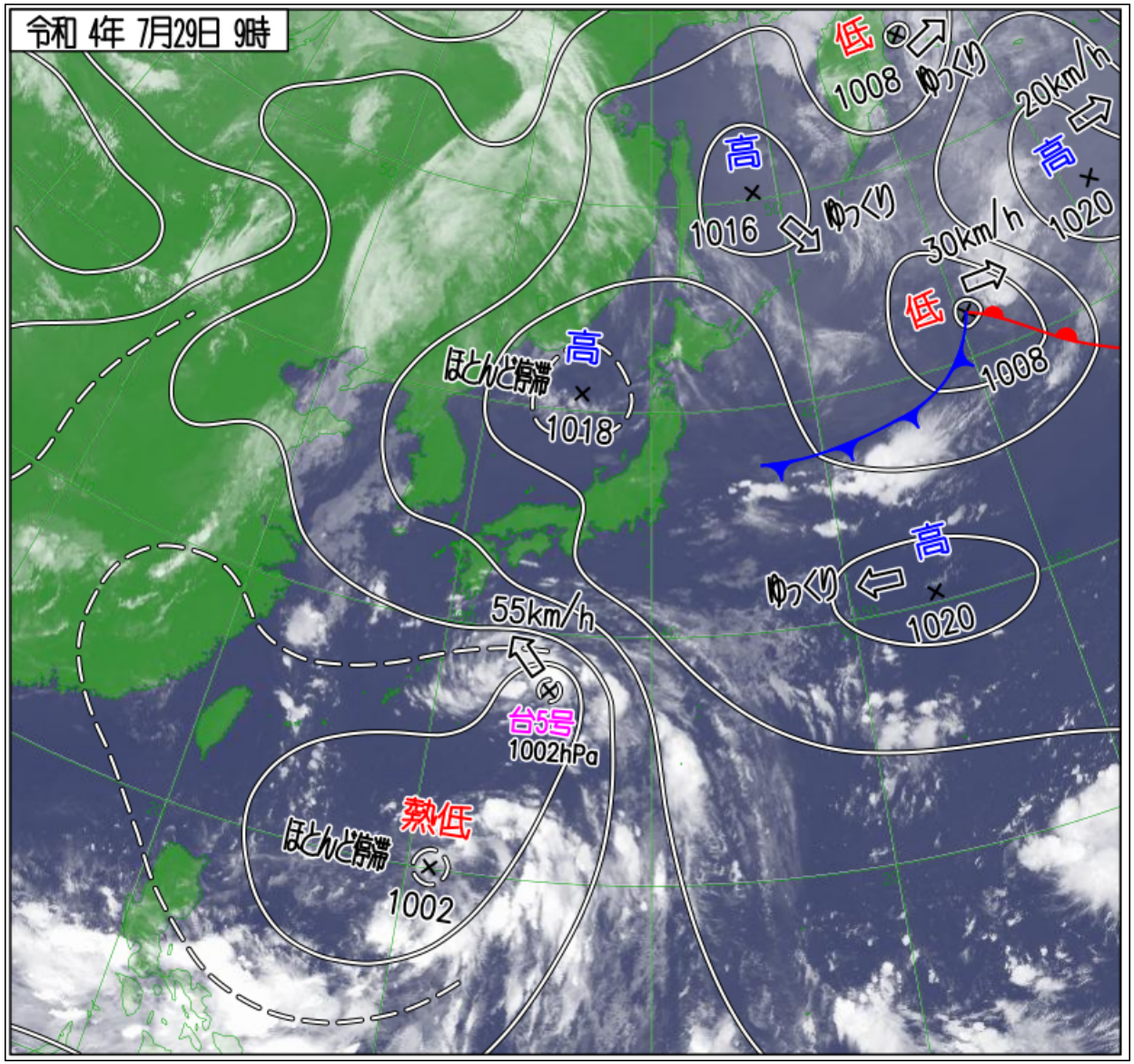
＜警戒事項＞

◎土砂災害　◎河川の増水や氾濫、低い土地の浸水

＜注意事項＞

落雷や竜巻などの激しい突風、強風、うねりを伴った高波

衛星画像と実況天気図（29日09時現在）



台風第5号の特徴

台風第5号の特徴

・29日9時現在、日本の南にあって北西に進んでいる。

・30日には東シナ海に入り、北西進を続ける見込み

31日以降は予想進路に不確実性が見られる

・現時点で暴風警戒域の予想はない。

宮崎県への風・波の影響は

現段階では『注意報級』を見込んでいます。

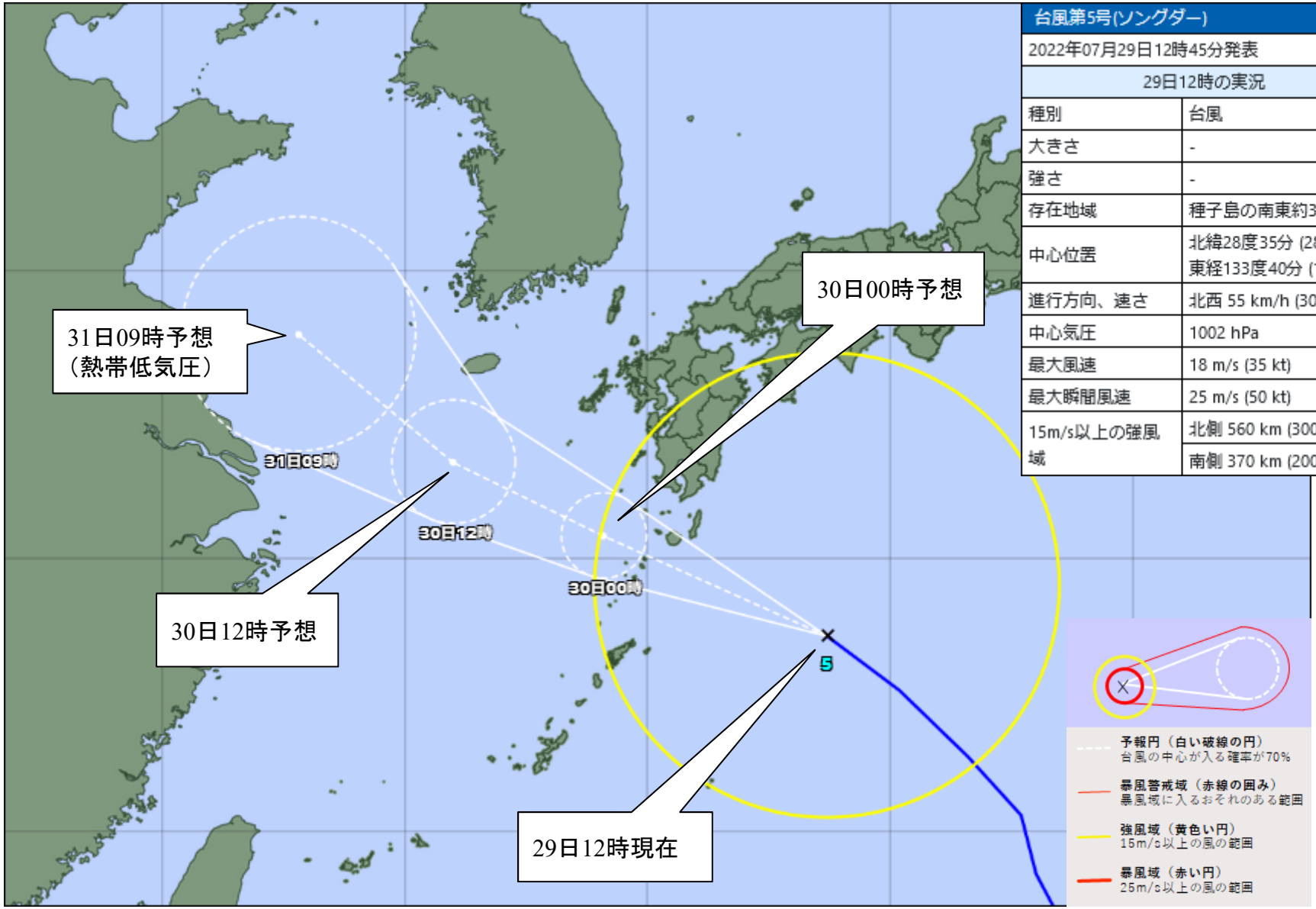
※強風域には既に入っている。

※海上はうねりを伴いますので注意願います。

※台風の進路や発達程度によっては予想が変わります。

最新の情報を参照してください。

台風第5号の実況と進路予想 （29日12時現在）



台風第5号(ソングダー)	
2022年07月29日12時45分発表	
29日12時の実況	
種別	台風
大きさ	-
強さ	-
存在地域	種子島の南東約340km
中心位置	北緯28度35分 (28.6度) 東経133度40分 (133.7度)
進行方向、速さ	北西 55 km/h (30 kt)
中心気圧	1002 hPa
最大風速	18 m/s (35 kt)
最大瞬間風速	25 m/s (50 kt)
15m/s以上の強風域	北側 560 km (300 NM)
	南側 370 km (200 NM)

宮崎地方気象台

風・波の見通し

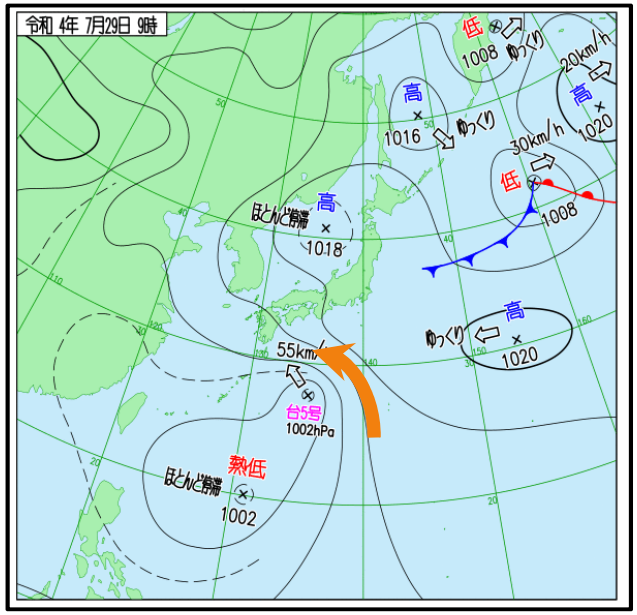
			29日				30日							
			12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時
			昼過ぎ	夕方	夜のはじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜のはじめ頃	夜遅く
強風（メートル）	南部平野部	陸上	12 ←	12 ←	12 ←	12 ←	12 ←	12 ←	12 ←	12 ↖	12 ↖	12 ↖	10 ↖	10 ↖
		海上	15 ←	15 ←	15 ←	15 ←	15 ←	15 ←	15 ←	15 ↖	15 ↖	15 ↖	12 ↖	12 ↖
	北部平野部	陸上	12 ←	12 ←	12 ←	12 ←	12 ←	12 ←	12 ←	12 ↖	12 ↖	12 ↖	10 ↖	10 ↖
		海上	15 ←	15 ←	15 ←	15 ←	15 ←	15 ←	15 ←	15 ↖	15 ↖	15 ↖	12 ↖	12 ↖
	南部山沿い		10 ←	10 ←	10 ←	10 ←	10 ←	10 ←	10 ←	10 ↖	10 ↖	10 ↖	8 ↖	6 ↖
	北部山沿い		10 ←	10 ←	10 ←	10 ←	10 ←	10 ←	10 ←	10 ↖	10 ↖	10 ↖	8 ↖	6 ↖
波浪（メートル）	南部平野部		2.5	3	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3
	北部平野部		2.5	2.5	3	3	4	4	4	4	3	3	3	3

警報級　注意報級

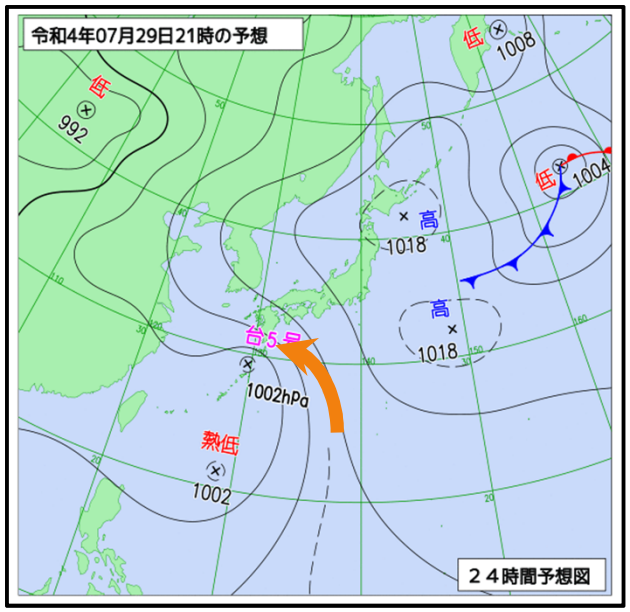
※宮崎県は既に強風域に入った（29日12時）。
※最接近は29日夜のはじめ頃、強風域を抜けるのは30日昼過ぎ。
※強風域を抜けても風の強さは若干弱まる程度

※海上はうねりを伴った高波に注意。29日夜からはしける。

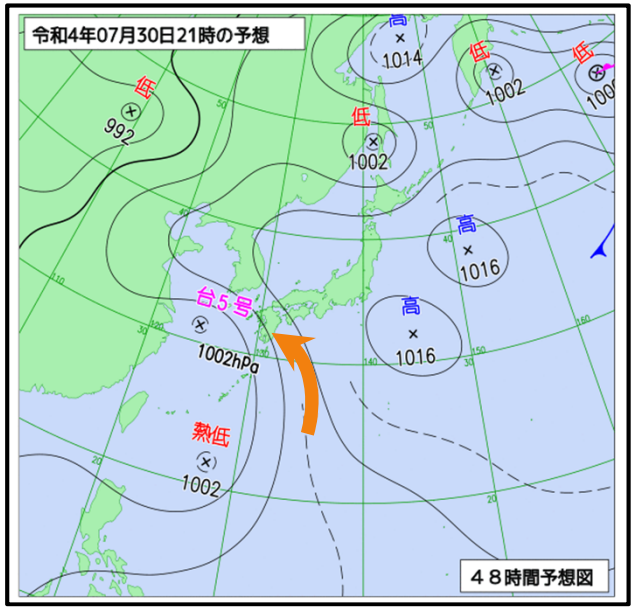
宮崎県は台風周辺や高気圧周辺の暖かく湿った空気が流れ込み続ける



29日09時の天気図



29日21時の予想天気図



30日21時の予想天気図

地上天気図

宮崎地方気象台

雨の見通し

		29日				30日							
		12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時
		昼過ぎ	夕方	夜のはじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜のはじめ頃	夜遅く
大雨・洪水（ミリ）	南部平野部	20	20	30	50	50	50	50	50	40	40	30	30
	北部平野部	20	20	40	50	50	50	50	50	40	40	30	30
	南部山沿い	20	20	30	50	50	50	50	50	40	40	30	30
	北部山沿い	20	20	40	50	50	50	50	50	40	40	30	30

警報級　注意報級

総雨量：250ミリ

総雨量：100ミリ～200ミリ

30日の総雨量：300ミリ

29日12時～ 30日12時
24時間雨量
250ミリ

30日12時～31日12時
24時間雨量
100~200ミリ

31日12時～
台風の動きにより
その後雨量は
更に増える可能性あり

期間中、

- 局地的に1時間30～50ミリの非常に激しい雨や激しい雨
- 同じような場所で雨が降り続くおそれ
- 県全域で大雨に要警戒・・・

南東斜面や南東側に半島や山がある地域は地形の影響で雨雲が発達するので特に警戒

宮崎地方気象台

早期注意情報（警報級の可能性）29日11時予報

宮崎県南部平野部			29日		30日			31日	1日	2日	3日
			12-18	18-24	00-06	06-12	12-24				
大雨	警報級の可能性		[中]	[高]		[高]		[高]	-	-	-
	1時間最大		20	50	50	50	40				
	3時間最大		30	70	100	100	60				
	24時間最大				200から300						
暴風(雪)	警報級の可能性		-	-		-		-	-	-	-
	最大風速	陸上	12	12	12	12	12				
		海上	15	15	15	15	15				
波浪	警報級の可能性		-	-		-		-	-	-	-
	波高		3	4	4	4	4				
宮崎県北部平野部			29日		30日			31日	1日	2日	3日
			12-18	18-24	00-06	06-12	12-24				
大雨	警報級の可能性		[中]	[高]		[高]		[高]	-	-	-
	1時間最大		20	50	50	50	40				
	3時間最大		30	70	100	100	60				
	24時間最大				200から300						
暴風(雪)	警報級の可能性		-	-		-		-	-	-	-
	最大風速	陸上	12	12	12	12	12				
		海上	15	15	15	15	15				
波浪	警報級の可能性		-	-		-		-	-	-	-
	波高		2.5	3	4	4	3				
宮崎県南部山沿い			29日		30日			31日	1日	2日	3日
			12-18	18-24	00-06	06-12	12-24				
大雨	警報級の可能性		[中]	[高]		[高]		[高]	-	-	-
	1時間最大		20	50	50	50	40				
	3時間最大		30	70	100	100	60				
	24時間最大				200から300						
暴風(雪)	警報級の可能性		-	-		-		-	-	-	-
	最大風速		10	10	10	10	10				
宮崎県北部山沿い			29日		30日			31日	1日	2日	3日
			12-18	18-24	00-06	06-12	12-24				
大雨	警報級の可能性		[中]	[高]		[高]		[高]	-	-	-
	1時間最大		20	50	50	50	40				
	3時間最大		30	70	100	100	60				
	24時間最大				200から300						
暴風(雪)	警報級の可能性		-	-		-		-	-	-	-
	最大風速		10	10	10	10	10				

警戒・注意事項

＜警戒事項＞

土砂災害、河川の増水や氾濫、低い土地の浸水

今回の一連の雨の総雨量は400ミリを超えるおそれがある

＜注意事項＞

落雷や竜巻などの激しい突風、強風、うねりを伴った高波

今後発表する宮崎県気象情報・警報・注意報や
キキクル（危険度分布）など、最新の気象情報をご利用ください。

大雨による災害の留意事項

大雨が降ると…

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう
土砂災害が発生！

崖崩れや土石流の発生を確認してから避難することはできない。

広島市の土石流による被害の様子
（平成26年8月20日気象庁撮影）

平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇！**

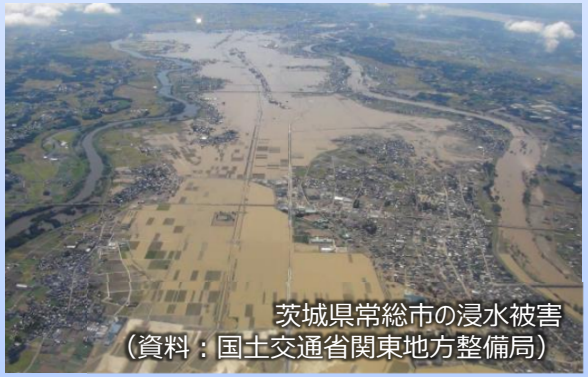
中小河川は、大雨が降ると短時間のうちに急激な水位上昇が起こりやすい。

福岡県朝倉市を流れる北川の様子
（出典：国土地理院ホームページ）

平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水！**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が決壊したりすると、広範囲が長時間浸水するなど大きな被害となる。



茨城県常総市の浸水被害
（資料：国土交通省関東地方整備局）

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、
キキクルや指定河川洪水予報を活用し、
安全に避難できる早い段階で避難開始を判断することが重要！